

金野 僕は好きなミュージシャンが好んで聴いている曲を調べて、どんどん掘り下げて派生していくスタイルだったんですね。だからパンクを聴いていたのに、いつのまにかレゲエにいつちゃったみたいなのがあったり。それで知識を増やしていったんですけど、今はそれが必要とされていないのかな。

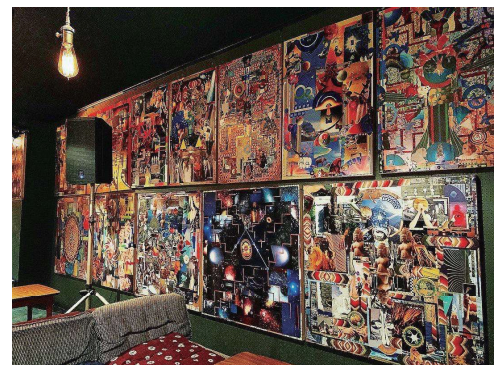
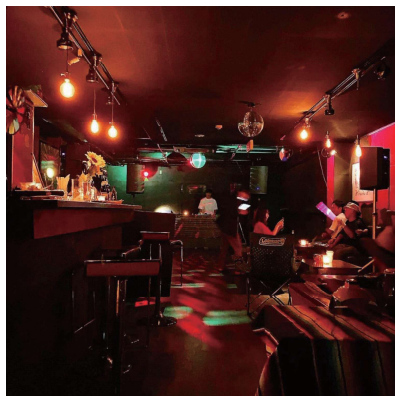
梅村 色んなことが今は高速化されていますよね。だから、過去を知ろうとするより、これからとか先を知ろうとしているのかな。悪いことではないんだけど。文化を知ることにはあんまりアンテナが張っていないのかもしれないですね。

金野 なるほど。縦に流れるスクロールは、今とかこれからの未来を探っているのか。

梅村 なぜ？ どうして？ いつから？ っていうものより、「今は何が？」っていう状態だと思うんですよ。今はたぶん「誰が今何をしているんだろう」「何がこれから出るんだろう」ってことが大切なのかな。

橋野 未来のことがすっかり気になって、情報がかけ流し状態になっていますね。

梅村 悪いことではないと思うから否定はしないんですけど、きっと今みたいに世界が変わる状況になった時にそういう感覚も変化してくると思います。みんな立ち止まって、気付かされると思う。「あ、忘れてたその感覚」ってなるんじゃないかな。



80年代から地元盛岡を拠点にDJやPartyを通して全国でも名高い盛岡のシーンの礎を築いてきたDJ MARYさんが営むMUSIC&ART BAR「MOTHER」。「良質な音楽も聴けるし、ご飯も食べられ、気軽に来れる家みたいな場所でありたいと営むMOTHER」には、前身のDJ BAR DAI当時から通い続ける方々や、次世代のミュージックフリークが集う。店名に掲げた「MOTHER」、まさに名は体を表す盛岡DJカルチャーの母のようなお店。

MUSIC&ART BAR「MOTHER」

盛岡市大通り一丁目 6-17 プラザタイガース BLD 3F

Tel: 019-651-0530

<http://mother-morioka.com/>

「やっぱり盛岡は音楽の層が厚い」

三田 盛岡は全国的に見てもレコード屋さんが多いまちなんです。

加藤 私はバンドブームや弾き語りが流行した時代で影響を受けてきました。今はサックスやドラムなどのリズム系が人気ですね。多少自己流でもできますし。

金野 前は楽器と言えばピアノのイメージでしたよね。高原でお嬢様が弾いているイメージを勝手に持ちちゃうんだけど(笑)

三田 クロステラスではライブや音楽イベントを時々開催しているんですが、東山堂さんにも協力いただくことがあるんですよ。これまでおもしろいなと思った企画は、2018年の冬に開催した「世界の打楽器の系譜」についての講義。北アフリカ・トルコ・中近東系の打楽器とインドの打楽器は特徴が全然違うみたいな話があって。トルコ・中近東系の打楽器は、下が細い構造で中音がカットされるし中心に筒が入っていて低音を出すらしい。インド系の打楽器は陶器などのおもりを中にいれて鳴らすから重低音がしっかり聞こえる。それと同じような構造が各地の住まいや環境と音楽の関係性にもあって、寒い地域では家の造りがしっかりしていて、空間自体がホールのようにになっているから、母音が多くなって、メロディーを好むようになるんだけど、気温が暑いところだと、虫の音とかいろんな音が自然界にあって、開放放たれているからリズムが優先される、みたいな話を聞いたんですが、東山堂さんが開いている音楽レッスンでドラムを習っている人が多いという話も、やっぱりだんだん日本も気温が熱帯化してきているから、そういうリズム系のものが気に入られているのかもなと思ったりします。あとは、もう少し前に東山堂さんがギターメーカーの人を連れてきてくれたことがあって、その方の企画も面白かったですね。ギターのボディが1センチ広がるだけですごく豊かな音が出るようになったり、ジャカジャカならしたい人用のギターとか、爪弾きたい人のギターがあるとか、使っている木の種類も音の違いを生んでいるとか。そういう音楽や楽器への知識を説明していただく機会があることはすごくいいことだなと思っているんですが、そうして音楽に携わっている方たちがクロステラス盛岡に来てくれるのは、そもそもこれまでミュージシャンを受け入れてくださっていたマザーさんのようなお店があるからだと思うんですよ。やっぱり盛岡は音楽面の層が厚い。